

富岡実業 高等学校 学校評価一覽表 ② (平成30年度版)

(様式2)

羅 針 盤		達成度			改善状況のまとめ	学校関係者評価	次年度の課題		
評価対象	評価項目	①	②	総合					
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①各学科コースの専門教育に生徒の80%以上が満足している。	A	A	A	少人数制の授業形態や、実験・実習等の授業改善に取り組み、昨年度に続き90%の評価を得た。 ・今後も、生徒の適性に合ったコース選択に向けた指導とともに、地域に根ざした学校として、地域連携・地域貢献活動を続けて欲しい。	産業社会の変化を見据え、1年次のコース選択に係るガイダンス科目及び各コース専門教育を継続的に充実させる。 自ら興味をもち参加できるよう各種行事・地域貢献活動等の工夫・検討・精選をさらに行う。 学習指導、行事等について、生徒が達成感をもてるように工夫・魅力化を図るとともに、広報を行っていく。		
		②地域貢献活動に積極的に参加し、その活動を評価する生徒が70%以上である。	A	A	A			参加率は微増し、評価についてもおよそ80%を得たが、生徒の意識が低下傾向にある。	
		③自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は、80%以上である。	B	B	B			様々な面談や各種アンケート等を実施し、生徒理解に努めた。また、意義や目的を明らかにしながら学習や行事等の指導に取り組み、およそ80%の評価を得た。	
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	④「授業がわかりやすい」と、生徒の70%以上が答えている。	C	C	C	授業がわかりやすいと回答した生徒は64%であったが、そのうち十分満足していると回答した生徒が5%増加した。 ・専門高校は色々な資格取得ができるのが魅力であるので、資格取得指導をより推進して欲しい。 ・資格取得に生徒は満足しているようであるが、自己の目標に応じた学力を身に付けたと評価している生徒が少ないようである。資格取得(短期的学習)と年間を通した包括的な学習とは意味合いが異なる。より学習活動の活性化に努めて欲しい。	授業公開週間や授業評価アンケートにより生徒の実態に合わせた授業改善にさらに取り組む。また、各学期毎に成績不振者指導を充実させる。 受験者が合格できるような指導を今後も継続し、合格率をより高める。		
		⑤資格取得に向けた指導に、生徒の80%以上が満足している。	A	A	A			生徒の84%、保護者の86%が資格取得指導に満足しており、職員の83%がその取組を評価している。	
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑥意欲的に学習に取り組んでいると自己評価している生徒が、80%以上である。	B	B	B			授業に意欲的に取り組み、しっかり勉強していると自己評価している生徒は84%であるが、職員の評価は60%であるため、開きがある。	授業規律の確立を土台に、対話的な学びやICTの活用などの工夫を行い、授業に興味をもたせる。 将来の目標を設定させる指導を充実させるとともに、目標に向けた学習習慣を身に付けさせることや、苦手科目等の解消に向けた指導がさらに必要である。
		⑦自己の目標に応じた学力を身に付けたと自己評価している生徒が、80%以上である。	D	D	D			目標をもって勉強している生徒が58%、朝学習や補習等に積極的に取り組んでいる生徒が51%と少ない。	
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑧学校は安全であり、安心して学校生活を送っていると感じている生徒が90%以上である。	C	C	C	学校は安全であると保護者の88%が評価しているが、生徒は74%と学校生活に不安を感じている生徒が26%いる状況であった。 ・欠席率・遅刻率が後半上昇しているようである。この要因の一つとして、スマートフォンの使い方が問題であるように思われる。社会に出て通用する大人になれるよう、環境の変化に対応した体調管理を含め、規則正しい生活習慣を身に付けさせて欲しい。	生徒が安心して学校生活を送るため、生徒の悩みや相談に応じる個人面談の機会をより増やすなど、調査等を積極的に行う体勢をより整える。 卒業後の進路を見据え、出席することの大切さを今まで以上に伝えていく必要がある。 朝食の面では、健康に留意した生活を送れているが、十分な睡眠を取っていない生徒が少なくないことを踏まえ、生徒への指導をより充実させる必要がある。		
	5 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑨欠席率が1.0%以下、遅刻率が0.3%以下である。	A	D	C			欠席率は1.3%、遅刻率は0.5%という結果になり、最終的に目標値に届かなかった。	
		⑩毎日朝食を摂るなど、健康に留意した生活を送るよう意識している生徒が80%以上である。	C	C	C			毎日朝食を摂ると答えた生徒・保護者は80%以上であり、朝食の面では多くの生徒が健康を意識した生活を送っている。一方、睡眠については、30%近い生徒が十分な睡眠をとれていない状況であった。	
6 生徒主体のいじめ防止活動に積極的に取り組んでいますか。	⑪いじめをしない許さない態度を身に付け、いじめ防止に向け積極的に取り組む生徒が85%以上である。	C	C	C	人の嫌がることをしないよう意識している生徒は90%であるが、いじめ防止活動を積極的に実践している生徒は70%であった。 いじめ防止フォーラムの開催では力を発揮した。	生徒会が中心となり、生徒主体のいじめ防止活動の充実に向けた方策を考え、一人ひとりが、いじめ防止活動への意識を高め、学校全体で実践することで目標を達成させる。			
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	⑫進路に関する行事が進路選択に役立っていると評価する生徒が85%以上である。	A	A	A	進路講演会・進路相談会・インターンシップなどを実施し、生徒・保護者の意識改善に努めた結果、生徒88%、保護者91%の評価を得た。 ・若者の離職率が高い中、本校の離職率は低いようであるが、より定着率を上げられるよう、インターンシップ等の長期社会体験を有効活用し、取組をより充実させて欲しい。(富実生はあいさつなどもしっかりでき、評判が高い。)	より内容を検討し、精選する中で実効のある行事を実施する。 低学年よりガイダンスができる環境を作り、意識の高揚に取り組む。 低学年からスケジュール管理に取り組み、自分の適性を理解させ、卒業後の生活を意識した取り組みを進める。		
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑬インターンシップの効果を参加生徒の85%以上が肯定的に評価している。 ⑭自分の適性について理解し、進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒が85%以上である。	A	A	A			2年生全員のインターンシップが定着し、意識が向上してきた。 低学年から進路に対する興味を喚起し、3年生における希望の実現に取り組んだが、評価は生徒72%、保護者80%であった。	
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑮PTA活動や学校行事等に積極的に参加している保護者が、70%以上である。	D	D	D	PTA行事に積極的に参加していると回答した保護者は40%と、目標値を大きく下回ってしまった。 ・今は、小学校の時から配布物が家庭に届かないという話もある。GSNメール配信による情報提供は非常に有効的であると思うので、これからは積極的に続けて欲しい。 ・開かれた学校づくりに向けて、本部役員会などでも今後積極的に話し合いをもちたい。	配布物が確実に保護者に届く工夫と、引き続きGSNメールによる呼びかけを続ける。さらに、行事そのものがより魅力的な内容になるよう、実施時期を含めた見直しも必要である。 GSNメールの配信、学校HPの定期的な更新のほか、学校からの配付物がきちんと家庭に届いているかを確認するなどの改善策を練っていく。		
		⑯授業公開、学校からのメールや配付物、ホームページの閲覧等を通じて、保護者の70%以上が学校の様子を理解できている。	C	C	C			子供の学校での生活をだいたい把握していると回答した保護者は69%、今年度、富実の新聞やHPを見たことがあると回答した保護者は63%であった。	